

泉の自治だより

題字 野村 勲

No. 91

発行所 泉 町 連 合 区
 発行責任者 連合区会長 野村 勲
 事務局 (泉公民館内)
 土岐市泉中郷町 TEL 55-3653
 編集部長 鈴木 孝之



友画会
 中村 久子

平成二十一年度連合区要望事項について

泉町連合区会長 野村 勲

今年度の要望事項について、連合区は、各区において区民の声として提出された事項について検討し、七月二十二日に市当局に今年度要望書を提出しました。

新規要望事項 四件

- (1)おりの丘団地(北山)の通学路「あんしん歩行エリア」の整備
- (2)乙塚古墳の雨漏り防止と段尻巻古墳の土地取得について
- (3)乙塚古墳は国定史跡であり、雨漏りによる崩壊が予測、段尻巻古墳は国の指定文化財で、環境整備等永続的な管理保存が必要、市に買い上げを要望
- (4)「ゆのみ」里広場の管理の徹底について

土岐市駅前町内会は有効利用されるべき広場の管理について利用者二〇〇名より要望書が提出された。

(4)土岐市駅東・北駐輪場の電気灯の変更

継続要望事項について九件を提出しました。

(1)泉児童センターの建設促進

平成十三年度以来、泉西児童センター建設促進を要望してきましたが、市の回答が放課後教室との絡みから、建設しないとの回答となってきた。

今後どうするのか、促進を強く要望する。

(2)泉公民館の建設の促進を要望する。

区民のアンケートによる声を参考に、当地区の高齢者も学習意欲は高く、建替・見直しを要望する。

(3)国道十九号線・池上交差点から中央自動車道新丸石橋間の道路の建設を要望する。

十九号線の危険箇所への見直しと変更を要望した。解答書がまだ出しておりません。今後、回答出きる事項について報告します。

- (4)都市計画道路(大富・高山線)の改良
- 泉公民館西側、朝夕、交通車両の渋滞・混雑・泉小・中学校登下校道路であり交通事故の危険性もあり改良を要望する。
- (5)主要地方道、土岐・可児線の国道十九号線交差点から天王池間の道路の改良の催促。
- 十九年度から一部工事が施工されており、昨年に引き続き促進を要望した。
- (6)土岐市駅北広場の拡張及び大型バス発着場の設置を要望。

駅北広場は市民バス等の発着場や駅北駐車場利用車両とも重なって混雑が増大し、一般乗客・歩行者が危険大型バス発着場の設置を要望。

朝夕バス等のアイドリィング禁止の看板を至急設置を要望する。

(7)土岐市駅前広場と北駅

広場連絡地下通路の防犯装置の設置を要望。

この地下道は夜間、子供・老人・女性には危険が一杯です。地下通路内及び出入口付近に防犯カメラ・赤色回転灯(左右二ヶ所)・押ボタン二ヶ所、至急設置を要望する。

(8)定林川の早期土砂浚渫及び護岸整備を要望。

定期的に一斉清掃と土砂浚渫の実施を要望する。

(9)都市計画道路(県道河合・多治見線)の見直しと要望。



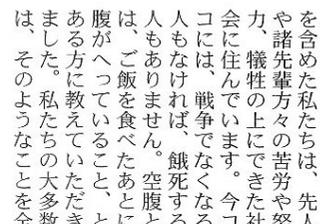
暑い夏安心・安全パトロール頑張ってください

「美濃焼音頭」に出会って

連合女性部長 岩井 登代美

桜咲く四月連合区役員の皆様の御指導御協力ののもとに、連合区女性部の活動を始める事ができました。慌しいままに七月の声を聞き、各地域の夏祭りが始まり、今年度は天候不順により、なかなか梅雨が明けず、うらめしい程の雨の日々でした。多くの地域の夏祭りが多大な影響を受け、楽しい夏祭りにと願う各地区の役員の方々の心遣いは大変なものとなりました。盆踊りも雨により室内でとり行う事もありました。夏祭りに向けて盆踊りを練習してきた部員一同、各地域の盆踊り大会を盛り上げるために一生懸命応援に向かいました。今年連合区女性部は、ある盆踊りの曲に注目しました。それは昨年の敬老会の会場で、パツク・ミュージックとして流し、お客様に「懐かしいネ」「覚えてるよ」「踊ったネ」と大変喜ばれた大反響があったと前年度の女性部長さんからお聞きした「美濃焼音頭」です。この曲は約五十年程前に土岐市に誕生しました。が、何故か長い間埋もれていました。

私達も改めて聞いて、当時の土岐を物語る歌詞は素朴でふるさとの味がすると感じました。土岐市の夏の夜空の下に、この歌を流せたら、懐かしく思い喜んでくれる人が多くあるのでは、また次の世代に伝えられたらと思ひ及びました。赤堀紅葉先生に踊りの指導をお願いし、連合女性部五区が一体となり練習に取り組みました。七十数名の部員はもとより、多くの人達に覚えてもらい、思い出しでもらい踊りをよび広める事に努めました。幅広い交友につながり有意義な活動ができたと思ひます。盆踊り本番となり各地域へ応援に行きまですと「美濃焼音頭」が流れ、嬉しくホッとした気持ちになりました。中日新聞の東濃版に取り上げて下さり、部員一同、ひと夏の充実を感じております。この活動が来年につながる事を望み、願っております。「美濃焼音頭」復活につきて、泉西公民館長の金津保様に大変なお力添えをしていただきました。多くの皆様の協力ありがとうございました。



子供会リーダー研修会

「ピース」でつながって行きましょう。

泉町青少年育成会 会長 三輪 東志夫



子供会リーダー研修会

「ピース」人差指と中指を広げ笑いながらポーズをとる子供たち。写真を撮ってもらった時のあの声。皆生き生きとしていました。何だか私たちが忘れてしまったような気がするうれし顔を当たり前のようにしてくれました。私は、そんな子供たちの「ピース」が大好きです。ピースは私たちの活動の原点であると信じています。

泉町青少年育成会は、子どもたちの健全育成の一助となるように活動を行っています。私たちが願ひは、泉町に住む全員が今よりも少しだけ、子どもたちに関心を持っていただくことです。子どもたちも私たちは関心を持っています。子どもたちが、私たちがつながっている社会の中で育っています。良いこともそうでないことも同じように子どもたちに影響を与えています。子どもたちを含めた私たちは、先人や諸先輩の方々の苦勞や努力、犠牲の上でできた社会に住んでいます。今ココには、戦争でなくなる人もなければ、餓死する人もありません。空腹とは、ご飯を食べたあとに腹がへっていること、とある方に教えていただきました。私たちの大多数は、そのようなことを全く知りません。そしてモノは世の中に捨てるほどあふれています。一方、心はどうかという、モノがなかつた時代にはあつたと思われ、おおかさ、いたわり、人を認める力、つながりを持つとうとする力が失われつつあるようです。人を信じる力が特に弱くなったと企業家の堀紘一さんは言われています。最近の子は、一生懸命頑張る人を茶化す傾向がある。と言われるのはPL高校野球部で清原や桑田、立浪を育てた中村順司監督です。基本的な力が弱いと言われます。

私たちの活動が実を結ぶのは、今の子どもたちが大人になり、子どもを持つ頃かもしれません。そう言えども子どもの頃、自分たちのために何かやってくれる大人がいたと思ひだしてこれたらそれが私たちの実なのかもしれません。

一人でも多くの子どもたちに参加いただき、より多くの町民の方と運営をもっとすることができれば、それはきっと子どもたちの心に良いイメージとして残ると信じています。

私たち育成会は、いつでも協力していただけるメンバーを募っております。お問い合わせは泉西公民館、電話531028までお願いします。「ピース」でつながっていきましょう。



子供百人一首大会

